

スウェーデンでの取り組みに学ぶ

保育とファミリーソーシャルワークと

保健医療を連携して

子ども達の発達保障と虐待防止を

子ども達の乳幼児期の発達保障を考える上で、保育所、幼稚園、子育て支援センター、保健所など連携や協力の大切だと云われています。

国も、子ども・子育て支援で「親子を一括支援拠点整備」を150か所(H27年度)のうち50か所は、26年度中に立ちあげるとしています。

市町村や保健所の相談窓口にも、保健師や助産婦、ソーシャルワーカーなどを配置。産科医や保健所、児童相談所など連携し、1つの窓口で様々な相談を受け入れできるようにするものです。

今度、スウェーデンのファミリーセンターの予防・相談部長のカーリン・ユンググレン女史が来日され、講演を頂くことが決まりました。このセンターは、助産師、看護師が関与する医療とソーシャルワーカーと保育所を1つにまとめた組織です。先進的な取り組みが行われている北欧の取り組みについて学びましょう。

日時 2015(H27)年2月22日(日) 10:00~12:00

場所 鎌倉生涯学習センター

4階第6集会室

横須賀線鎌倉駅下車徒歩3分

講師 カーリン・ユンググレン女史



参加費 資料代等1,000円(当会会員は無料)

主催 神奈川民間保育園経営研究会 後援 鎌倉市(申請中)

参加申し込みは、2月16日までにメール、ファクスでご連絡ください。

①氏名 ②連絡先 ③ご所属(勤務先・学校名等)をお知らせ下さい。

メール ADS02022@nifty.com ファクス 0467-39-6601

問い合わせ (福)鎌倉たんぽぽ会 梶原の森たんぽぽ保育園 小林

電話 0467-39-6600 ファクス0467-39-6601

